

ほっと通信

訪問看護 ほっと ステーション

NPO 法人在宅ケアを支えあう会

〒186-0011 国立市谷保4140-4

電話・FAX:050-1101-7034

E-mail sasaeaukai@yahoo.co.jp

在宅ケアを支えあう会会員の皆様、「ほっと通信」第1号を出すにあたり、ご挨拶させていただきます。

訪問看護ほっとステーション始動して1ヶ月。まだちょっと危なっかしいです。(組織としては)しかし、提供する看護はちょっと自信を持っておりました。が、ケアするその手に人柄が現れるというか・・・自分を見つめ直すきっかけとなっており、厳しい現実を味わっております。

看護師として施設看護師、看護教員、介護福祉士教員の傍ら ALS 患者である佐々木さんの在宅療養の状態、ALS 患者会のお手伝いをするなかで考え続けてきた在宅療養患者さんのケアをする。そして大変困難ななかで療養されている現状をみて、大きなことはできないけど、今、目の前にいる療養者にはできることがある。私たちの経験が本当に生かされるのか試したい。それには訪問看護ステーション設立か、こんな思いをずっと持ち続けていました。

思いを形にする。それが社会的なことであると、ま。大変なことも味わっております。

しかし、やると宣言してからは頑張りました。支援して下さる個人や団体のかたの力を借りてやっどここまでできました。(経過は後述)

法人格を持つとはどういうこと?・NPO 法人とはどういうこと?会社って? そこからですから、訪問看護ほっとステーション設立そのものにエネルギーを使い果たした感じでした。

まだまだ、東京都、法務署、ハローワーク、税務署と相談しながらですが、患者さんがいつまでも在宅療養が続けられるように、をモットーに看護の提供をおこないます。

訪問看護の提供以外にも、ケアを行う上で必要とされる様々な技術の向上に繋がることも行っていきます。

どうぞ、私たちに暖かいご支援、暖かい苦言を賜りますよう、お願いいたします。

10月 殿

訪問看護ほっとステーション設立までの経過

2006年

- 1月15日 設立總會
- 1月24日 特定非営利活動法人設立認証申請書提出。受理
- 4月10日～15日 国立市 NPO 任意団体紹介イベント在宅ケアを支えあう会の紹介
最終日(15日)は車椅子の使い方
- 5月7日 介護教室 一本松公会堂「もっと楽な動きを」
- 5月18日 特定非営利活動法人在宅ケアを支えあう会 登記
- 7月7日 訪問看護事業所申請・受理
- 9月1日 訪問看護ほっとステーション開設



訪問看護ステーション開設にむけて

この訪問看護ステーション利用者第一号予定の佐々木です。新しい理事としてもよろしく申し上げます。私は96年11月ALS（筋萎縮性側索硬化症）告知ですからALS満10年となりました。なお99年12月気管切開、00年3月から人工呼吸器をつけ在宅療養中です。なおほかにNPO法人わの会の理事長もやっています。

これまで下西さん、小倉さん、殿岡さんに、私たちは10年の長きにわたり大変お世話になっております。ALS患者の希望の会の様々なとりくみへのボランティア活動、患者訪問や患者家族への相談活動、そしてわの会でもデイサービスでもヘルパーステーションでも、ある時はボランティア、ある時は講師、ある時は技術指導と様々にお世話になり続けております。この場をお借りして心より感謝とお礼を申し上げます。

たくさんの患者、家族そして障害とたたかう仲間たちが待っています。新しい訪問看護ステーションがALSや難病患者をはじめすべての障害者にとって希望の灯、やさしさの砦となることを心よりご期待申し上げます。あわせて、多くの様々な困難を乗り越えて、訪問看護ステーション設立めざす皆様の熱意と勇気とたくさんのご努力に、心よりの敬意と感謝を申し上げます。

一定以上の重い障害者は日常生活の一部またはすべてを人の介護、介助に頼らなければ生きて行けない。その理由はどのようであれ、多くの人びとが障害者の生活にかかわるようになる。そしてそれぞれの道筋から人間のいたみに対する協力者となっていく。介護、介助の世界では強さや競争でなく／やさしさ／の価値感が優先する。やさしさにはやさしさが対応し、新たなやさしさ、より深い豊かなやさしさを広げていく。つまりやさしさの連鎖が生まれ広がる。

新しい訪問看護ステーションがやさしさの連鎖の中心になり、やさしさの砦となることを確信します。NPO法人わの会も私たちもお世話になりつつですが、力いっぱい協力していこうと決意を新たにしております。どうぞよろしく申し上げます。

06年NPO法人わの会 佐々木公一